

議第6号

米軍機の低空飛行訓練に関する意見書

上記の議案を別紙のとおり徳島県議会会議規則第14条第1項の規定により提出する。

平成28年3月15日

提	出	者	白	木	春	夫	庄	野	昌	彦
			黒	崎		章	高	井	美	穂
			山	田		豊	達	田	良	子
			上	村	恭	子				

徳島県議会議長 川 端 正 義 殿

米軍機の低空飛行訓練に関する意見書

本県議会では、米軍機の低空飛行訓練に関して、県民の生命・財産を守る立場から、これまでも再三にわたり低空飛行の中止を求める意見書を提出し、関係機関に強く要請してきたところである。

しかしながら、平成27年における低空飛行訓練の目撃情報は前年と比較して増加しており、今年に入ってから度も目撃情報が報告されていることから、飛行訓練ルートであるいわゆるオレンジルートに位置する地域の住民は不安や懸念を抱いている。

最近では、オスプレイが、去る3月4日、県南部の美波町、牟岐町及び那賀町において1年3か月ぶりに目撃されたことに続き、3月7日には牟岐町、那賀町に加え、鳴門市においても低空飛行が目撃されている。特に、鳴門市での飛行は、鳴門コウノトリ鳥獣保護区付近を通過したため、県を挙げて保護活動に取り組むコウノトリの初繁殖や定着への影響を危惧する声が、多くの県民から寄せられている。

よって、国においては、飛行高度など、日米合同委員会の合意事項を厳守することはもとより、騒音などによる県民の不安を払拭するため、また、コウノトリが定着できるような自然環境保護の観点から、オスプレイを含む米軍機の低空飛行訓練について特段の配慮がなされるよう、米国及び米軍当局に対し申し入れることを強く要請する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成 年 月 日

議 長 名

提 出 先

衆 議 院 議 長

参 議 院 議 長

内 閣 総 理 大 臣

外 務 大 臣

防 衛 大 臣

内 閣 官 房 長 官

協力要望先

県 選 出 国 会 議 員